

夕刊 いわき民報

郵便番号 970
いわき市平字山田町63-7
いわき民報社
振替口座(郡山)4028
社 0246 1666
支 0246 2666
本 0246 5444
小 0246 2903
常 0246 2903



先進仙台市を視察

実践的な活動を指導

いわき市では初の試みとなる、内郷、四倉、久之浜の3地区に近郊、防災関係職員十八人が先月仙台市を視察した。市内のモデル地区では、消防署や消防団の指導、協力を得て、消火や各種の訓練

始動する地震対策

いわき市消防防災課

町内会単位に自主防災組織

二次災害防止に重点

今年7地区でスタート

大地震が発生した際、地域住民が迅速に対応、都市災害から身を守ることも、火災など二次災害の被害を最小限度に食い止めるための「自主防災組織」の設立が、いわき市で具体化している。市民の自衛意識に根ざした自主防災組織の育成は、昨年まとめた地震対策計画のなかでも重要課題として取り上げられており、早急な組織化が防災関係者の懸案となっていた。これを主眼とする市消防防災課は、とりわけ今年中にも市内七地区にモデル地区を設定、五十年度から具体的な防災活動に着手、全体的に普及拡大して将来に備えたいとしている。

孤立時の自衛力養う

市の地震対策計画は、近い将来、福島県沖で大地震の発生する可能性が、警戒を要する」という専門家の意見、報告を踏まえ、仙台市で震度5弱を記録した五十三年の宮城県地震(マグニチュード7.2)を模範とし、二次災害防止を最優先と想定している。



ナシ畑での土起こし作業—平上平彦

〇「干害、冷害といわきナシは難航したが、三度目の正直、今年にける期待は大きい。」
〇「小枝のせん定はほとんど終わり、今は地力をつける。複葉肥料を施すのに懸命。なにかいって土がよくなればいいものはこれだ。」
〇「皮も肉も固いと中央市場で敬遠され、買いたたかれるナシ(長十郎)を、二十世紀より甘い新水や幸水に品種改良が進められ、今年は計画最終年度を迎えた。」
〇「世は過渡消費時代。味さえよければ飛ぶように売れる。うまさは二の次。」

本部長に町内会長

情報、消火、救護、給食など

この状況のなかでは、パニックを防ぎ、応急対策を円滑に実施するのが大切で、自主防災組織の果たす役割は大きい。町内会単位で結成する組織は、町内会長を本部長として、①被害状況を把握し、正確な情報を会員に伝える。②被害者の救護。③給食給水部が編成される。仙台市では、宮城県沖地震の体験を教訓として、同地震からおよそ二年後に防災都市宣言を行い、同組織づくりを推進。これまでに八百九十七の町内会のうち約三〇％にあたる二百八十七の町内会が結成済み。また、小池ポンプ、テント、メガホン、タンカなどの防災用品を準備した集会所「防災コミュニティセンター」の整備、街頭消火器の設置も進められている。

世界のワインと牛肉料理とクラシック音楽の店

ランチタイム 正午~2時 500円
JGL レストラン
平・三田小路 23-3386

いわき抄

▼「マチのど真ん中、もたまたま野鳥がやってくる。家の中、に降子に映る鳥の動作を見ている。木の葉を食べている。うすである。郷土民謡に聞いている人の話には、神代な仏壇にあげた飯を毎日洗まらねばならぬ。たまには珍しい鳥もやってくる。この話を聞いたことがある。水のひまわり、柴箱を降の片まにうつつおくと、だんだん鳥たちが寄ってくる。うすになる。それがスズメでもかわいい。」
▼「本紙のシリーといわきの鳥たちも、順を追っていろいろの鳥の姿を紹介してくれるので楽しんだ。いわき飛来する白鳥は、そのなかでも冬鳥の女王である。鮫川の白鳥は二十八羽にも達している。このことだが、これを見物しようという人もない。増えているという話だ。特に白鳥は家族づれの見物客を大に喜ばせている。これは白鳥に対する市民の関心が非常に高いことを示すものである。急いで鳥の餌が増えたため、不足が伝えられたが、となりのこのかきが、かつてのこの鳥の餌は、環境悪化がない限り年々やってくるものだと。少なくとも白鳥を見物に来る人は観覧料をうけなければならない。茶がらやパン屑などを持参するように呼びかけてほしい。」

きものおびをばいばい

きものおびをばいばい
平字山田町1-8 電話22226



クロバーセール

◆1月24日(土)→31日(土)
秋・冬物 3割~5割引き
★特価品を多数取りそろえてございます
●ワンピース ●スーツ ●コート
●パンタロン ●スカート その他
※特別ご案内(今回限り)
エクセヌ製品オール半額
●フレザー ●スカート ●コート
なお 期間中の返品はご容赦ください

おしれの店 ちかうち

いわき市平字三丁目(平和通り) 23-1611

